

地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター 上町

【計画】

作成担当者： 西村 彩

開催日時	平成30年11月07日 13:00 ~ 14:00	開催場所	上町福祉館
参加者	民生委員：24人、居宅支援事業所：2人、通所リハビリテーション事業所：2人、訪問リハビリテーション事業所：1人、訪問看護事業所：1人、グループホーム：1人、共同住宅：1人、特別養護老人ホーム：1人、有料老人ホーム：1人、訪問介護事業所：1人、通所介護事業所：3人、地域包括支援センター職員：5人		
	総数	43 人	
内容	テーマ	清水地区のフォーマルサービスについて	
	目的	地域包括支援ネットワークの構築、地域課題の発見	
	概要	清水地区の地域住民の困り事について（グループ討議）	

【結果】

開催日時	平成30年11月07日 13:00 ~ 14:00	開催場所	上町福祉館
参加者	民生委員：24人、居宅支援事業所：2人、通所リハビリテーション事業所：2人、訪問リハビリテーション事業所：1人、訪問看護事業所：1人、グループホーム：1人、共同住宅：2人、特別養護老人ホーム：1人、有料老人ホーム：3人、地域包括支援センター職員：4人		
	総数	41 人	
内容	<p>・6グループに分かれて清水地区の地域住民の困り事についてグループ討議を行った。</p> <p>【困り事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告があっても避難しない人、避難場所に行けない人がいる。 ・災害時に町内会名簿などから住民への連絡がスムーズにいったこともあった。しかし市営住宅やマンションなどでは、隣近所との関係が希薄なため情報を得にくい。 ・認知症の方で面談では取り繕いがあり、介護度の認定に繋がらないケースが多い。認定受けたらこういうサービスできると情報提供するが、本人がまだ受けたくないという人もいる。 ・生活保護受給しているが、お金がなく近隣住民や民生委員に借金の依頼がある。（⇒包括への相談や生活困難者の相談窓口もある。） ・ゴミ屋敷など民生委員としては見守りをする立場で、家族以外では踏み込めない範囲がありもどかしさを感じる事がある。（⇒ゴミを溜めるのも本人なりの理由があるので自分で話していただく事により本人にも自覚して頂くことが大事。） ・買い物難民が問題となっている。（⇒月4回、施設とコンビニが連携し、移動販売のように来て頂き、近隣住民が自分で見て選んでいただけるようなサービスを行っている。） ・通所送迎時の送迎車両を見て「私も利用したい」と話しかけてくる住民がおり対応に困ることがある。（⇒包括への対応依頼だけでなく、その住民の希望や思いを知ってもらうために地域民生委員へ報ずるのも方法と思われる。民生委員の持つ情報も加えたうえで包括へ連絡いただければ、情報共有ができたうえで対応できる。） ・地域に新しい事業所ができて何をやっているのかが中が見えず入りにくい。（⇒事業所が休みの日にお茶のみに来てもらうよう町内会やまちづくり協議会へ協力依頼していく。） <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の困り事や相談あった時に包括にすぐ相談いただくのも一つだが、地域の民生委員に相談いただくことも一つの方法であると、民生委員・サービス事業所全体として共通認識を持つことが出来た。 ・同じ地域にいながらなかなか関わることの無い民生委員とサービス事業所との顔つなぎを行い、顔の見える関係づくりができた。今後、互いに気軽に声をかけ合ったり助け合えるような地域全体のネットワーク作りに繋がる足がかりになったと考える。 		
今後の課題など	今回の会議で挙がった清水地区の住民の困り事と圏域内他地区（大竜・名山）での困り事を集約し、地域ケア推進会議へ活かして行く。		